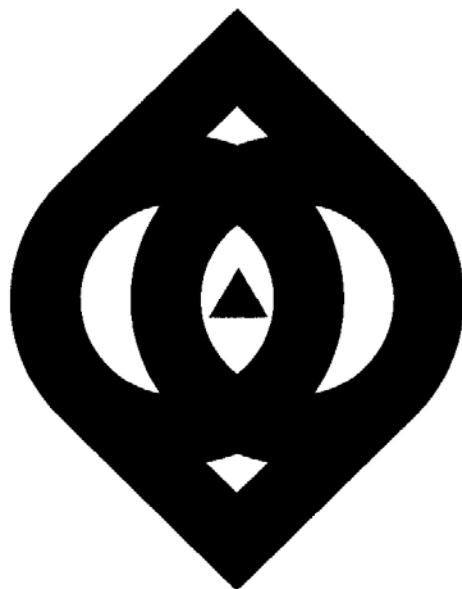


令和5年度

第57回 同窓会総会



新潟県立新津工業高等学校同窓会

【日 時】令和5年7月29日

【会 場】割烹“枳形屋” 秋葉区本町2-2-16

< 第57回 同窓会総会 次第 >

- (1) 開 会 (司会：)
- (2) 同窓会長挨拶 (川内同窓会長)
- (3) 来賓挨拶
・ 学校長 、 教頭
- (4) 議長選出 (議長：)
- (5) 議 事
- ・ 第1号議案 令和4年度活動報告 -----【3頁】
 - ・ 第2号議案 令和4年度決算報告 -----【4頁】
 - ・ 第3号議案 令和4年度会計監査報告 -----【5頁】
 - ・ 第4号議案 令和5年度活動計画(案) -----【6頁】
 - ・ 第5号議案 令和5年度予算(案) -----【7頁】
 - ・ 第6号議案 令和5年度同窓会役員(案) ---【9頁】
- (6) その他
- ・ 新役員の選任説明
 - ・ 学校行事の説明
 - ①秋葉公園の東屋竣工～日本建築科の活躍
 - ②母校創立60周年記念講演の報告
 - ③学校PRの報告
- (7) 議長退任
- (8) 閉 会 、 懇親会等の事務連絡

添付資料

- 【添付資料1】 令和5年度同窓会 役員名簿 -----【8・9頁】
- 【添付資料2】 新潟県立新津工業高等学校 同窓会会則 -----【10頁】
- 【添付資料3】 状況写真（令和4～5年度活動報告補足資料）
- 【添付資料4】 新潟県立新津工業高等学校 同窓会報(第57号)
- 【添付資料5】 ひこばえ他学校資料（令和5年発行分）

第1号議案

令和4年度活動報告

| | | | |
|------|-----|-----|--|
| 令和4年 | 4月 | 7日 | 母校（第60回）入学式（同窓会長出席） |
| | 6月 | 29日 | 三役会議（コロナ状況確認、今年度行事について） |
| | 7月 | 13日 | 秋葉公園東屋上棟式 -----【会報57号4頁】 （同窓会長出席） |
| | 7月 | 15日 | 同窓会報第56号発行 |
| | 9月 | 17日 | 三役会議（上棟式報告、創立60周年への協力を協議） |
| | 10月 | 13日 | 学校打合（創立60周年打合：川内会長・山田副会長出席） |
| | 10月 | 26日 | 記念講演事前練習（講演出演者台本読み合わせ） |
| | 10月 | 29日 | 飛翔祭 |
| | 11月 | 2日 | 創立60周年記念講演 ---【会報57号3頁／添付資料3-6頁】 （同窓会生10名で対応、ビデオ放映） |
| | 11月 | 2日 | 第56回総会（記念講演懇親会に併せて実施） |
| 令和5年 | 2月 | 28日 | 同窓会入会式 -----【会報57号2頁】 （同窓会対応3名：川内/山田/大野） |
| | 3月 | 1日 | 第58回卒業式（同窓会長出席） |

第2号議案

令和4年度 新津工業高等学校同窓会 会計決算書

収入の部

R4. 5. 1～R5. 4. 30

| 項 目 | 予 算 | 決 算 | 比 較 | 備 考 |
|-------|---------|-----------|--------|----------------------------|
| 繰越金 | 44,456 | 44,456 | 0 | 繰越金 |
| 新入会費 | 869,208 | 869,208 | 0 | 令和3年度入会費'6,000×145人-手数料782 |
| 広告収入他 | 56,336 | 90,009 | 33,673 | 寄付、利息ほか |
| 計 | 970,000 | 1,003,673 | 33,673 | |

支出の部

| 項目 | 予 算 | 決 算 | 比 較 | 備 考 |
|----------|---------|---------|----------|---|
| 事務費 | 80,000 | 39,930 | 40,070 | 事務用品、コピー代、ホームページ設備 |
| 会議費 | 25,000 | 0 | 25,000 | |
| 通信費 | 70,000 | 23,713 | 46,287 | 会報等送料、切手代 |
| 会報印刷費 | 60,000 | 82,519 | -22,519 | 会報印刷代 |
| 新入会員記念品代 | 140,000 | 133,000 | 7,000 | 印鑑 ケース付133x1000 |
| 表彰・記念品 | 100,000 | 44,000 | 56,000 | 資格・技能取得奨励図書券@5,000×8 賞状プリント4,000 |
| 同窓会資金 | 400,000 | 500,000 | -100,000 | |
| 総会費 | 50,000 | 25,000 | 25,000 | 60周年事業講演者総会補助5000 x 5 |
| 予備費 | 45,000 | 30,000 | 15,000 | 技能大会優勝 棟梁への謝礼10,000 秋葉公園東屋上棟祝儀20,000 |
| 計 | 970,000 | 878,162 | 91,838 | |

差し引き 1,003,673 - 878,162 = 125,511 円次年度繰り越し金
 令和4年度卒業生入金金預り金 797,208 円
 通帳残高合計 922,719 円 (R5. 4. 25通帳残高)

令和4年度 新津工業高等学校同窓会 特別会計決算書

| 項 目 | 金額 | 積立金額 | 備 考 |
|------------|-----------|---------|-------------------|
| 平成28年度末積立金 | 2,750,498 | 300,028 | 積立金+利息 |
| 平成29年度末積立金 | 3,340,521 | 590,023 | 積立金+利息 |
| 平成30年度末積立金 | 3,940,547 | 600,026 | 積立金+利息 |
| 令和元年度末積立金 | 4,440,596 | 500,049 | 積立金+利息 |
| 令和2年度末積立金 | 4,940,614 | 500,018 | 積立金+利息 |
| 令和3年度末積立金 | 5,440,656 | 500,042 | 積立金+利息 |
| 令和4年度末積立金 | 5,940,702 | 500,046 | 積立金+利息令和4年5月25日現在 |

第3号議案

令和4年度会計監査報告

会則に基づく会計監査を、令和5年 月 日に行いましたので、下記のとおり報告いたします。

記

- | | | |
|--|--------------------|-------------|
| 1 収支報告 | 総収入額 | 1,003,673 円 |
| | 総支出額 | 878,162 円 |
| | 残 額 | 125,511 円 |
| | 令和4年度卒業生入会金預り金 | 797,208 円 |
| | 通帳残高合計 令和5年4月25日現在 | 922,719 円 |
| 2 同窓会資金 | | 5,940,702 円 |
| 3 帳簿についても審査しましたが、各項目別に詳細に記載され、受領証等もよく整理されており正当と認めます。 | | |

新潟県立新津工業高等学校同窓会


会 長 川 内 勝 様

令和5年 5月 8日

会計監査委員

藤原 繁 

会計監査委員

五十嵐 庄明 

第4号議案

令和5年度 活動計画（案）

| | | |
|------|--------|---|
| 令和5年 | 4月 7日 | 母校（第61回）入学式（同窓会長出席） |
| | 4月29日 | 三役会議（今年度行事、役員改選について） ※コロナ規制緩和（2類⇒5類） |
| | 6月 9日 | 体育祭（同窓会長出席） |
| | 6月10日 | 役員会（三役／幹事／関係者出席） |
| | 7月10日 | 同窓会報第57号発行 -----【添付資料3】 |
| | 7月29日 | 第57回総会（評議委員会兼） ・役員改選 他 |
| | 10月29日 | 飛翔祭（新体制対応） |
| 令和6年 | 2月28日 | 同窓会入会式（新体制対応） |
| | 3月 1日 | 第59回卒業式（新体制対応） |

第5号議案

令和5年度 新津工業高等学校同窓会 会計予算書（案）

収入の部

R5. 5. 1～R6. 4. 30

| 項目 | 予算 | 前年度予算 | 比較 | 備考 |
|-------|---------|---------|---------|-------------------------|
| 繰越金 | 125,511 | 44,456 | 81,055 | 繰越金 |
| 新入会費 | 797,208 | 869,208 | -72,000 | 令和5年度入会費'6,000×133人-手数料 |
| 広告収入他 | 67,281 | 56,336 | 10,945 | 広告費・利息ほか |
| 計 | 990,000 | 970,000 | 20,000 | |

支出の部

| 項目 | 予算 | 前年度予算 | 比較 | 備考 |
|----------|---------|---------|---------|--------------------|
| 事務費 | 120,000 | 80,000 | 40,000 | 事務用品、コピー代、ホームページ設備 |
| 会議費 | 25,000 | 25,000 | 0 | 会議補助金 |
| 通信費 | 45,000 | 70,000 | -25,000 | 会報等送料、切手代 |
| 会報印刷費 | 83,000 | 60,000 | 23,000 | 会報印刷代 |
| 新入会員記念品代 | 122,000 | 140,000 | -18,000 | 令和6年度入会予定122名分 |
| 表彰・記念品 | 100,000 | 100,000 | 0 | 図書券 5,000×20名 |
| 同窓会資金 | 400,000 | 400,000 | 0 | |
| 総会費 | 50,000 | 50,000 | 0 | 総会補助費 |
| 予備費 | 45,000 | 45,000 | 0 | |
| 計 | 990,000 | 970,000 | 20,000 | |

令和5年度 新津工業高等学校同窓会 特別会計予算書（案）

収入の部

| 項目 | 金額 | 積立金額 | 備考 |
|------------|-----------|---------|--------|
| 平成28年度末積立金 | 2,750,498 | 300,028 | 積立金+利息 |
| 平成29年度末積立金 | 3,340,521 | 590,023 | 積立金+利息 |
| 平成30年度末積立金 | 3,940,547 | 600,026 | 積立金+利息 |
| 令和元年度末積立金 | 4,440,596 | 500,049 | 積立金+利息 |
| 令和2年度末積立金 | 4,940,614 | 500,018 | 積立金+利息 |
| 令和3年度末積立金 | 5,440,656 | 500,042 | 積立金+利息 |
| 令和4年度末積立金 | 5,940,702 | 500,046 | 積立金+利息 |
| 令和5年度末積立金 | 6,340,702 | 400,000 | 積立金+利息 |

第6号議案 【添付資料1-1】

令和5年度同窓会役員名簿 (7月31日迄)

| | | | | |
|----|------|--------|-------|------------|
| 1 | 会長 | 川内 勝 | (13E) | 13回電気科 |
| 2 | 副会長 | 山田 秀樹 | (12e) | 12回電子科 |
| 3 | 副会長 | 佐藤 仁是 | (13E) | 13回電気科 |
| 4 | 副会長 | 石黒 利幸 | (14e) | 14回電子科 |
| 5 | 幹事 | 阿部 英司 | (6M) | 6回機械科 |
| 6 | 幹事 | 吉沢 和久 | (13M) | 13回機械科 |
| 7 | 幹事 | 堀田 宏 | (20e) | 20回電子科 |
| 8 | 幹事 | 坂爪 裕介 | (29E) | 29回電気科 |
| 9 | 会計 | 大野 和也 | (15M) | 15回機械科 |
| 10 | 会計監査 | 藤原 繁 | (5e) | 12回電子科 |
| 11 | 会計監査 | 五十嵐 宏明 | (31S) | 31回機械システム科 |
| 12 | 評議員 | 笠原 由博 | (1E) | 1回電気科 |
| 13 | 評議員 | 田辺 篤 | (3E) | 3回電気科 |
| 14 | 評議員 | 楯 富雄 | (3M) | 3回機械科 |
| 15 | 評議員 | 谷内田 秋雄 | (3e) | 3回電子科 |
| 16 | 評議員 | 長谷川 貢 | (5M) | 5回機械科 |
| 17 | 評議員 | 笠原 悦雄 | (6M) | 6回電気科 |
| 19 | 評議員 | 島倉 弘 | (6E) | 6回電気科 |
| 20 | 評議員 | 佐藤 俊英 | (6E) | 6回電気科 |
| 21 | 評議員 | 田中 重之 | (8e) | 8回電子科 |
| 22 | 評議員 | 土田 勝男 | (6E) | 9回電気科 |
| 23 | 評議員 | 関口 敬三 | (10M) | 10回機械科 |
| 24 | 評議員 | 南場 恭夫 | (11M) | 11回機械科 |
| 25 | 評議員 | 五十田 規 | (17E) | 17回電気科 |
| 26 | 評議員 | 斉藤 靖 | (20e) | 20回電子科 |
| 27 | 評議員 | 加藤 知巳 | (20M) | 20回機械科 |
| 28 | 評議員 | 石井 英夫 | (28e) | 28回電子科 |
| 29 | 顧問 | 小柳 新一 | (1E) | 1回電気科 |
| 30 | 顧問 | 岡村 茂 | (1M) | 1回機械科 |
| 31 | 顧問 | 高塚 則明 | (8e) | 8回電子科 |

【添付資料1-2】

令和5年度同窓会役員名簿 (8月1日から)

| | | | | |
|----|------|---------------|-------|-------------|
| 1 | 会長 | 山田 秀樹 | (12e) | 12 回電子科 |
| 2 | 副会長 | 佐藤 仁是 | (13E) | 13 回電気科 |
| 3 | 副会長 | 石黒 利幸 | (14e) | 14 回電子科 |
| 4 | 副会長 | 坂爪 裕介 | (29E) | 29 回電気科 |
| 5 | 幹事 | 吉沢 和久 | (13M) | 13 回機械科 |
| 6 | 幹事 | 五十田 規 | (17E) | 17 回電気科 |
| 7 | 幹事 | 堀田 宏 | (20e) | 20 回電子科 |
| 8 | 会計 | 大野 和也 | (15M) | 15 回機械科 |
| 9 | 会計監査 | 建石 信浩 | (29M) | 29 回機械科 |
| 10 | 会計監査 | 五十嵐 宏明 | (31S) | 31 回機械システム科 |
| 11 | 評議員 | 笠原 由博 | (1E) | 1 回電気科 |
| 12 | 評議員 | 田辺 篤 | (3E) | 3 回電気科 |
| 13 | 評議員 | 谷内田 秋雄 | (3e) | 3 回電子科 |
| 14 | 評議員 | 長谷川 貢 | (5M) | 5 回機械科 |
| 15 | 評議員 | 藤原 繁 | (5e) | 5 回電子科 |
| 16 | 評議員 | 阿部 英司 | (6M) | 6 回機械科 |
| 17 | 評議員 | 島倉 弘 | (6E) | 6 回電気科 |
| 18 | 評議員 | 佐藤 俊英 | (6E) | 6 回電気科 |
| 19 | 評議員 | 土田 勝男 | (9E) | 9 回電気科 |
| 20 | 評議員 | 関口 敬三 | (10M) | 10 回機械科 |
| 21 | 評議員 | 南場 恭夫 | (11M) | 11 回機械科 |
| 22 | 評議員 | 遠藤 孝 | (11M) | 11 回機械科 |
| 23 | 評議員 | 大滝 正範 | (14e) | 14 回電子科 |
| 24 | 評議員 | 斉藤 靖 | (20e) | 20 回電子科 |
| 25 | 評議員 | 加藤 知巳 | (20M) | 20 回機械科 |
| 26 | 評議員 | 小鍛冶 就也 | (27M) | 27 回機械科 |
| 27 | 評議員 | 石井 英夫 | (28e) | 28 回電子科 |
| 28 | 評議員 | 荒澤 浩和 | (34M) | 34 回機械科 |
| 29 | 顧問 | 小柳 新一 | (1E) | 1 回電気科 |
| 30 | 顧問 | 岡村 茂 | (1M) | 1 回機械科 |
| 31 | 顧問 | 高塚 則明 | (8e) | 8 回電子科 |
| 32 | 顧問 | 川内 勝 | (13E) | 13 回電気科 |

【添付資料 2】

新潟県立新津工業高等学校同窓会会則

【第1章】 総 則

第1条 本会は新津工業高等学校同窓会と称し、事務局を新津工業高等学校内に置く。

第2条 本会は会員相互の親睦を計り、母校の発展に貢献することを目的とする。

第3条 本会会員は下記によるものとする。

- ・正会員／母校の卒業生
- ・特別会員／母校の職員ならびに旧職員

【第2章】 役 員

第4条 本会に次の役員を置く。

| | | |
|---------|-----|--------------------|
| 会 長 | 1名 | 評議員会で推薦、総会で承認を受ける。 |
| 副 会 長 | 若干名 | 会長が推薦、評議員会で承認を受ける。 |
| 幹 事 | 若干名 | 会員中より会長が委嘱する。 |
| 会 計 | 1名 | 評議員会で推薦、総会で承認を受ける。 |
| 会 計 監 査 | 2名 | 会員中より選出する。 |

第5条 役員任期は2カ年とする。但し再任を妨げない。

【第3章】 職 別 及 び 機 関

第6条 会長は本会を代表し、一切の会務を総理。必要に応じて評議員会・総会を開催する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時は会長の任務を代行する。
- 3 幹事は会長の指示に従い、必要とする事務全般を行う。
- 4 会計は本会の会計事務全般を行う。
- 5 会計監査員は会計を監査する。

- 第7条 本会には審議機関として評議員会を置き、役員と評議員で構成する。
- 2 評議員は若干名とし、会員中より会長が推薦、評議員会で承認を受ける。
 - 3 評議員会は、本会運営に関する総会議案等を審議する。

- 第8条 本会の最高議決機関は総会とし毎年1回これを開く。但し、評議員会の要望により必要に応じて臨時総会を開くことができる。
- 2 総会では、会則改正・会務・会計など評議員会から提出されたものを審議する。

- 第9条 本会には顧問をおくことができる。顧問は、本会の発展に貢献した者を評議員会で推薦し会長が委嘱する。顧問は会長の諮問に応ずる。

- 第10条 本会員10名以上居住する地区、または職場に支部を設置することができる。

【第4章】 会 計 事 務

- 第11条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日とする。

- 第12条 本会の経費は正会員の会費及び寄付金で充当する。

- 第13条 本会の会費は入会金及び特別会費とし、入会金は卒業時に一括納入する。

【第5章】 附 則

- 第14条 本会則は昭和41年3月7日より施行する。

| | |
|---------------|---------------|
| 昭和45年8月15日改正 | 昭和56年11月8日改正 |
| 昭和61年12月7日改正 | 平成元年11月12日改正 |
| 平成7年11月12日改正 | 平成15年10月25日改正 |
| 平成18年11月11日改正 | 平成23年7月16日改正 |
| 平成25年6月8日改正 | |

【添付資料3】

状況写真

(令和4～5年度活動報告補足資料)

| | 頁 |
|----------------------------|------|
| (1)秋葉公園の東屋 ----- | 2～5 |
| (2)創立60周年記念講演 ----- | 6～7 |
| (3)高校生ものづくりコンテスト全国優勝 ----- | 8 |
| (4)ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞受賞 --- | 9～11 |

(1) 秋葉公園の東屋上棟式状況写真

令和4年7月13日





秋葉公園東屋製作進捗状況



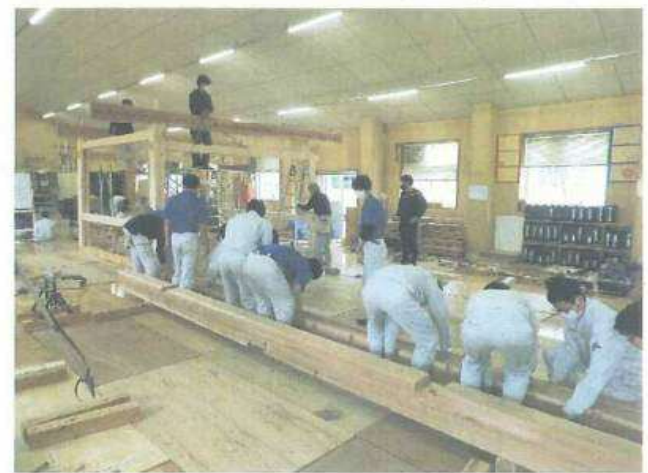
東屋 1/10 模型



4/21 仮組



5/17 根切り工事



5/19 鉄筋敷設工事



5/17 根切り工事



5/19 鉄筋敷設工事



5/24 コンクリート打込工事



6/2 型枠打設工事



6/2 足場設置工事



6/9 上棟工事

(2) 創立60周年記念講演／同窓会総会 状況写真

<創立60周年記念講演>

実施日：令和4年11月2日



学校長挨拶



学校長スライド説明



同窓会長挨拶(川内:13E)



同窓会長スライド説明



講演者登壇



聴講生徒全景



講演者登壇(拡大)



座談会進行挨拶(山田:12e)



講演者(佐藤:13E)



講演者(石黒:14e)



講演者(五十田:17E)



講演者(斎藤:20e)



講演者(甲田:30Mシステム)



講演者(五十嵐:31Mシステム)



講演者(井野元:39M)



生徒会長挨拶(講演の御礼)

<令和4年度同窓会総会>



総会集合写真(懇親会前)



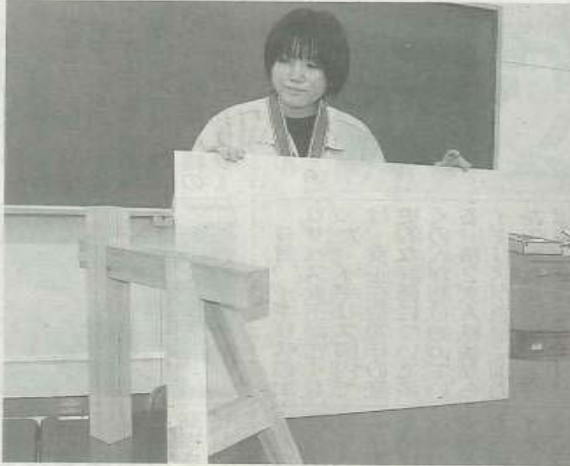
校歌斉唱

(3) 大倉笑皇さん 高校生ものづくりコンテスト全国優勝

2022年(令和4年)12月25日(日曜日)

(日刊)

新 潟 日 報



高校生ものづくりコンテスト

「第22回高校生ものづくりコンテスト全国大会」の木材加工部門で、新潟市秋葉区の新津工業高校日本建築科3年の大倉笑皇さん(17)が優勝した。大倉さんは「図面作成や作品作りの練習を繰り返し、全力でやれて楽しかった」と喜ぶ。神社仏閣の建築や修復に携わる宮大工を目指し、研さんに励んでいる。

全国の工業高校の生徒が技術や技能を競う同大会は、全国工業高等学校長協会が主催。木材

大倉さん (3年新津工 年) 全国V

励みに宮大工目指す

加工部門は11月に富山市で開催、各ブロック代表ら10人が出場した。

大倉さんは授業で日本の伝統的な木造建築技術を学び、部活動の建築部にも所属している。8月の県大会と北信越大会で優勝し、全国大会に初出場した。

全国大会では、木材をかんなどで削り、寸法を測って印を付ける「墨付け」といった作業など、木造建築に必要な技術を用いて課題を仕上げる。作業状況や完成度が審査され、大倉さんは現寸図の作成で満点を獲得した。

大会に向け、夏休み中も毎日登校して図面描きや作品作りに力を注いだ。木材を接合した時に、隙間やゆがみが無くなるように作るのに苦労したという。先生に材料を準備してもらってたくさん練習し、アドバイスをもらったおかげで優勝できたこと勝因を振り返る。

既に技能検定(建築大工)2級に合格。卒業後は県内企業へ就職する。「かんなやのみなど道具を使い、作業するのが楽しい。宮大工を目指して努力していきたい」と抱負を語った。

写真Ⅱ大会で優勝した課題作品を見せる大倉笑皇さん(新津市秋葉区)

(4) 松本航希くん ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞



表彰式記念撮影 (写真: 首相官邸HPより)

第9回ものづくり日本大賞 受賞概要 (内閣総理大臣賞)



ものづくり日本大賞
内閣総理大臣賞

文部科学省関係

| | | | |
|------|--|------|----------------------------|
| 受賞件名 | 第16回若年者ものづくり競技大会金賞 (厚生労働大臣賞) 第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会第1位 (農林水産大臣賞) | | |
| 受賞者 | まつもと こうき 松本 航希 | 所属機関 | 新潟県立新津工業高等学校卒業 (現 山崎建築) |
| 所在 | 新潟県新潟市 | 年齢 | 19歳 |

案件の概要

松本氏は幼少の頃から木材加工に興味を持ち、将来大工の道に進みたいという思いから、工業高校の日本建築科に進学し、建築大工の伝統工法を学んで技量を高めた。

その結果、(令和3年11月13日)「**高校生ものづくりコンテスト全国大会木材加工部門**」で**1位**(10人中)を獲得するほか、高校生だけでなく20歳以下の若年者を対象とした大会である(令和3年8月4日～5日)「**若年者ものづくり競技大会建築大工部門**」でも**金賞**(24人中)を受賞する等、将来を担うものづくり人材として、素晴らしい功績を残している。



**新潟県立新津工業高校日本建築科の卒業生（令和4年3月卒）が
第9回「ものづくり日本大賞」（内閣総理大臣賞）を受賞しました
※文部科学省関係での受賞は県内で初めてです。**

山崎建築の松本航希さん（新津工業高校日本建築科を卒業）が、在学中の全国大会における受賞実績を評価され、第9回「ものづくり日本大賞」（内閣総理大臣賞）を受賞しました。表彰式は1月17日（火）に総理大臣官邸（大ホール）で行われました。

1 受賞者について

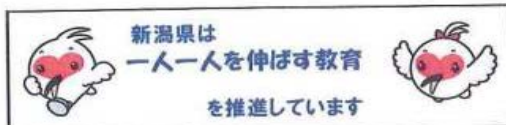
- ・ 山崎建築 松本 航希（まつもと こうき）さん
- ・ 令和4年3月 新津工業高校日本建築科卒業
- ・ 高校在学中の全国大会の受賞歴
第16回若年者ものづくり競技大会 建築大工職種金賞（厚生労働大臣賞）令和3年8月
第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会 木材加工部門第1位（農林水産大臣賞）令和3年11月

2 ものづくり日本大賞について（平成17年度に創設）

- ・ ものづくりに携わっている各世代の人材のうち、特に優秀と認められる人材を表彰するもの
- ・ 経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省が連携して開催
- ・ 今回の受賞した「ものづくりの将来を担う高度な技術・技能」分野と、「産業・社会を支えるものづくり」、「文化を支えるものづくり」、「ものづくりを支える高度な技能」の計4分野で構成

3 受賞内容について

- ・ 全国のものづくりに関する競技大会等において文部科学大臣賞等を受賞した中学生、高校生の中から、特に優れた成果を収めた個人・団体を内閣総理大臣賞として表彰
- ・ 受賞者の高校在学中の全国大会の受賞歴（厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞）が評価され、今回の受賞となった。



本件についてのお問い合わせ先
参事 橋本 敏郎
(直通) 025-280-5612 (内線3884)